

築地市場の再整備

テーマ 山卯

(1) 再整備の必要性について

(イ) 東京都が予定している豊洲市場において次に掲げる大きな危惧する要素がある。

- (a) 食品を扱う市場において、発がん性物質を含む危険物質が土壌にあり、東京都が完全に環境基準以下にすることが出来る科学的な保証がない。
- (b) 築地市場の土地は科学工場の跡地のような危険物質が存在しない。
- (c) 豊洲市場においては5街区、6街区、7街区が50m道路、45m道路で十字に分断されている。その道路は市場専用道路ではなく、一般道であり、非常に交通量が多く排ガスなどの危険性も存在する。また交通手段として「ゆりかもめ」という効率の悪いアクセスしかない。
- (d) 物流の効率化という名のもとで、市場が大口取引のみの市場となり、セリという本来の商物一体の建値が形成されない。(食文化の破壊)

(ロ) 築地市場の利点について

- (a) 交通アクセスの有利性。
地下鉄大江戸線、地下鉄日比谷線、JR 新橋駅より都バス、晴海通り、市場通り、昭和通り等の道路網が充実している
- (b) 世界に通用する築地市場ブランド力の価値が計り知れないほどの高価値を含んでいる。
- (c) 仲卸においては、各専門店による各自の顧客に対応できる高材の分荷機能が発揮できる。
- (d) 東京都における観光文化の拠点として海外の旅行客を呼び込むことができる。

(2) 築地市場再整備において 新市場の展望

- (a) 取引の公正性と情報の公開できる市場。
- (b) 近代化物流拠点とする。
- (c) 様々な顧客に対応する市場とするために駐車場の拡充。
- (d) 観光施設としての整備 トイレ、水族館、セイ見学施設(業務の妨げにならない様にする)。

(3) 築地再整備の行程

(a) 種地の造成について

現在の茶屋の上に高架による種地を造成し、順次仲卸店舗の造成を行う
仲卸店舗の地下に種地を作っていく、各大道路ごとに工事を区切って行う。東京
駅地下、渋谷駅地下の改装など何十万人もの利用でも一切支障が起きていない。
中央区の協力により、近隣の遊休地に市場機能の一部を移動する
勝どき門と仲卸売り場の平面を立体化し、種地として利用する

(b) 再整備の問題点の解決

種地がない問題

(3) - (a) の方法により空中に種地が確保できる。

業務に支障がでる問題

(3) - (a) の地下の種地の利用又空中に種地を作ることにより、動線が着られる
ことが少ない。

以上